

ふたご座流星群

火球も出現か?

12/14(月)夜 ~ 12/15(火)3:00 極大

※ 前後数日間は少数ながら観測できます。

三大流星群の1つ、ふたご座流星群は、今年は月明かりがなく大変観測条件は良いです。

12月15日03時がふたご座流星群の極大です。そのため、12月14日の夜から12月15日の午前3時にかけてどんどん流星の出現数が増えてくると予想されています。

放射点の高度は夜更けにほぼ頭上に達することから、街明かりさえなければ、たくさんの流星を数えることができるでしょう。ここ数年火球めいた明るい流星が含まれている傾向にあるので、初冬の一夜を流星で楽しみましょう。



ステラナビゲータ ver.9 で作成

12月14日(月)23:00 ふたご座流星群の放射点 (久留米)

※ 腕を伸ばした時の「にぎりこぶし1つ分」が約10°です。



※ 放射点とは流星が放射状に飛び出してくるように見える天球上の1点です。輻射点ともいいます。

月明かりがないので、今年はふたご座流星群を見るチャンスだよ!!

【観察するときの注意】

- 安全な場所で、大人と一緒に観察しましょう。
- 空全体を見ましょう。
- 暗いところで目を慣らしてから見ましょう。



福岡県青少年科学館

福岡県久留米市東櫛原町 1713
TEL:0942-37-5566